

# 若年性認知症の仕事や介護保険利用サポートのために

- シート1：申込書
- シート2：社会資源活用
- シート3：支援の必要性を知るシート
- シート4：ジョブベース
- シート5：くるみボタン行程表
- シート6：つながるシート
- シート7：社会資源利用の可能性が低い場合のサポート（家族）
- シート8：居場所や作業の場づくり
- シートの使い方

平成28年度社会福祉振興助成金事業簡易報告書

若年性認知症の人のための仕事づくり

平成29年3月発行

特定非営利活動法人認知症の人とみんなのサポートセンター



独立行政法人福祉医療機構  
社会福祉振興助成事業



歩行に関する注意事項（転倒の有無・道がわからなくなるなど）			
排泄についての注意事項（介護や誘導の必要性や方法など）			
視聴覚的な注意事項（視力・見えにくい部分など）			
職歴			
趣味・特技・好きなこと			
嫌いなこと			
性格			
普段の過ごし方			
不安になりやすい状況・その時の対処方法			
本人の希望			
家族の希望			
緊急連絡先			
ご家族	氏名	続柄（ ）	電話番号 携帯電話番号 メールアドレス
ケアマネ	事業所名 氏名		電話番号 携帯電話番号
ガバ事業所	事業所名		電話番号

シート2:社会資源活用について

記入日 年 月 日

これから活用を促進したいものを明確にしましょう。

現在活用しているものに○をつけ、利用内容や利用していない場合はその理由や予定を記入しましょう。

	社会資源	活用○	利用内容、利用していない理由、活用予定など
相談先	地域包括支援センター		
	社会福祉協議会		
	行政(障害福祉・高齢福祉の窓口)		
	医療	病院	
		認知症疾患医療センター	
		保健センター・保健所	
		在宅介護支援センター	
		介護サービス事業所	
		若年認知症の家族会	
就労支援	地域の介護者家族会		
	ハローワーク		
	障害者就業・生活支援センター		
経済支援	その他		
	傷病手当		
	失業保険		
	障害年金		
	特定疾患の公費負担		
自立支援	生活保護		
	自立支援医療		
	精神障害者保健福祉手帳		
	身体障害者手帳		
	移動支援		
	就労支援		
介護保険	その他		
	介護保険の申請・認定結果		
	訪問介護		
	訪問看護		
	通所介護(デイサービス、デイケア)		
	ショートステイ		
	小規模多機能		
金銭	その他の介護保険制度		
	日常生活自立支援事業・成年後見制度		

### シート 3: 支援の必要性を知るシート

いつ診断を受けたかなど現在の状況と各項目に合わせ、必要性(担当者が必要と考える)、意向(本人、家族の意向)がどうか、チェックしてみましょう。

記入日: 年 月 日

状 況	必要性	意向	備 考
1. 診断の状況 1) 診断名が明確でない 2) 診断が明確になった	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	→適切な医療機関へつなぐ →障害年金、障害者福祉手帳の取得 →自立支援医療
2. 就労・家事・育児・介護の状況 1) 仕事を続けている 2) 仕事を辞めるように言われている 3) 再就職(できる仕事に移る) 4) 仕事をさがす 5) 再就職(福祉的就労) 6) 就労を全てあきらめる 7) 家事・育児・介護などが困難になってきている	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	→就労継続の支援 →就労継続の支援 →再就職の支援 →再就職の支援 →福祉的就労支援
3. 介護保険サービスは必要でない状況 1) 家にいて、特に困っていないととらえている 介護保険を利用する状況ではない 2) 介護保険を利用する状況ではないが、社会参加の場が必要 4. 障害者福祉サービスが必要な状況 ガイドヘルパーの利用により活動範囲が広がり、介護負担軽減	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	→移動支援の利用 →シート6を活用してみましょう 直接的サービスの利用可能性
5. 介護保険サービスが必要な次のような状況がある 1) 一人暮らし 2) ひとりで留守番していて食事を食べない 3) 知らない間に怪我をしている 4) 外出してひとりで帰れない 5) トイレがひとりでうまくできなくなる 6) 介護者となると萎縮してしまう 7) 介護者が見つかっている 8) できることがあるのに介護者が上手くサポートできない 9) 服薬確認の必要性がある	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	→シート6を活用してみましょう 直接的サービスの利用可能性 ↓ 利用が困難な場合は 7シートを活用してみましょう
6. 入所、入院が必要な状況 1) 入所 2) 入院 体が衰弱している BPSDが激しい	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
7. 成年後見の必要がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

シート4：ジョブベースづくり

1.	健康管理・病気の管理	必要性	サポートの内容
	1 定期的な通院をして病状が安定している		
	2 服薬管理ができる、サポートがあればできる		
	3 自分の障害・症状の理解をしている		
	4 不安感がなく、気持ちが安定している		
2.	生活習慣・生活リズム	必要性	サポートの内容
	1 睡眠が十分とれている		
	2 生活リズムが整っている（起床など）		
	3 季節に応じた服装ができる、サポートがあればできる		
3.	コミュニケーション・人間関係	必要性	サポートの内容
	1 協調性がある		
	2 共同作業ができる		
	3 感情のコントロールができる		
	4 意思表示ができる		
	5 就労の場、仲間になじむことができる		
	6 自分から周囲の人に話しかけることができる		
	7 仲間への気遣いができる		
	8 困った時にまわりの人に聞ける		
4.	基本的労働習慣	必要性	サポートの内容
	1 就労の意欲がある		
	2 作業意欲がある		
	3 持続性がある		
	4 働く場のルールの理解を理解している		
	5 危険への対処ができる		
	6 作業態度が真面目である		
	7 仕事の報告ができる		
	8 忘れ物をしない、あっても対応できる		
	9 安定して通所・通勤ができる		
5.	職業適性	必要性	サポートの内容
	1 1日のスケジュールが理解できる		
	1 就労能力の自覚（作業適性・量）		
	2 求められる作業速度がある		
	3 能率の向上を目指すことができる		
	4 作業の指示が理解ができる		
	5 作業の正確性がある		
6 作業環境変化に対応できる			
6.	通所・通勤	必要性	サポートの内容
	1 交通機関を利用して遠方から一人で通える		
	2 電車の乗り換えに対応できる		
	3 駅から就労場所まで歩いていくことができる		
	4 道がわからなくなり迷っても対応できる		
	5 外出しても一人で帰ることができる		
	6 信号など交通ルールを守ることができる		
7.	家族の協力	必要性	サポートの内容
	1 本人が働くことに同意している		
	2 本人の症状、障害特性を理解している		
	3 必要な際、通勤などのサポートができる		
	4 就労上のリスクについて理解できている		

# 作業工程確認表【くるみボタン】

難度：★多いほど難しい  
作業の工程を把握するためには、全て記憶力必要

作業NO	内容	工程	備考	難度と作業要素 (どのような機能が必要になる作業か)
1	材料購入	ボタンキット、布、ボンド、綿棒、袋		
2	カード作成	用紙購入、カードの印刷		
3	ボタンの仕分け	くるみボタンの凹面と凸面を分ける	分けておくとき成型時にやりやすい	
4	ボタンの製作	布の型取り(ポイント有) 準備) 布 マジック 型(円) ※できるだけ無駄のないよう配置する	布のポイントが中央になるよう円の型をつける ①ポイントが中央になるよう型を置く ②マジックで円の外側に印をつける ※できるだけ無駄のないよう配置する	難度★ 思考力 認知力 手の動き 注意力 構成員
5		布の型取り(ポイント無) 準備) 布 マジック 型(円) ※できるだけ無駄のないよう配置する	布に円の型をつける ①円を布に当てる ②マジックで円の外側に印をつける ※できるだけ無駄のないよう配置する	難度★ 認知力 認知力 思考力 注意力 手の動き 注意力
6		布を切る 準備) 型を取った布 ハサミ	型を取った布を切る ①ハサミで型に沿って布を切る ②切った布とゴミを分ける	難度★ ハサミ操作 注意力 認知力
7		不織布の型取り 準備) 不織布 鉛筆 型(円)	不織布に円の型をつける ①型を不織布に当てる ②鉛筆で円の外側に印をつける ※できるだけ無駄のないよう配置する	難度★ 認知力 認知力 思考力 注意力 手の動き 注意力
8		不織布を切る 準備) 型を取った不織布 ハサミ	型を取った不織布を切る ①ハサミで型に沿って不織布を切る ②使う部分とゴミを分ける	難度★ ハサミ操作 注意力 認知力
9		くるみボタン成型 準備) くるみボタン凹面 くるみボタン凸面 円に切った布 円に切った不織布 成型ケース (ペンチ)	布をくるみボタンキットにつけて成型する ①透明の成型ケースに布と不織布を置く ②ポイント有の布は中央にポイントがくるようにする ③ボタンの凹面を布の上にはめる ④はみ出ている布を凹面の中央に折り曲げる ⑤布がはみ出ないようにボタンの凸面を入れる ⑥成型ケースの押し枠を入れて押しはめこむ ⑦はめこめたら枠からボタンを抜く	難度★ 構成員 思考力 認知力 器用さ 器用さ 手の力 認知力 認知力 構成員 注意力 注意力 器用さ 丁寧さ

※一連として行うため分割作業は困難  
均等に円内に布が入るよう配置  
布が動くため、確認しながら  
できるだけ平になるように  
力が必要(机上に置いてペンチで押える)

作業NO	内容	工程	備考	難度と作業要素 (どのような機能が必要になる作業か)	
				難度★	作業要素
10	ボタンの加工 糸通し穴取り 準備) 成型後ボタン ペンチ	ボタンの糸通し穴を取る ①ペンチで糸通し穴をつまむ ②本体からはめた枠が取れないように穴を取る	※力必要 傷つかないように配慮必要 商品が傷つかないように行う	難度★ 注意力 手の力	道具操作
11	フェルト貼り 準備) ボタン(穴無し) 円に切ったフェルト ボンド ボンドの台紙 綿棒	成型したボタンの裏側にフェルトを貼る ①ボンドを適量台紙に出す ②ボタンの裏が上になるよう置く ③綿棒にボンドを着ける ④ボタンの裏側にボンドを塗る ⑤フェルトを裏側に凹面に添うよう貼る	無いことに気づかない場合は手伝う はみ出たり、皺がないように	難度★ 注意力 注意力 注意力 注意力	量の調整力 認知力 認知力 思考力 認知力
12	ピン位置の記入 準備) フェルト付きボタン マジック	ピンをつける位置を描く ①ボタンの裏で上下を確認 ②上下が分かるように机に置く ③ボタン中央よりも上側に横線を引く	※布のポイントに上下があるもののみ必要	難度★ 注意力 構成力 思考力	構成力 認知力 構成力
13	ピンつけ 準備) ピン ボタン(穴無し) ボンド ボンド台紙 綿棒	成型したボタンにバッチ用のピンをつける ①ボンドを台紙に出す ②ボタンの裏が上になるよう置く ③綿棒に適量のボンドを取る ④ボタンの裏面に引いた線の上にボンドをつける ⑤ピンの上下を確認 ⑥線の下が広い側がピンの下になるように置く ⑦ボタンにピンが着くように押える	無いことに気づかない場合は手伝う	難度★ 注意力 注意力 注意力 構成力 思考力 手の力	量の調整力 認知力 認知力 注意力 認知力 構成力
14	ゴム通し 準備) ボタン(穴あり) ゴム	成型したボタン穴にゴムをつける ①ゴムを適当な長さに切る ②ゴムの端を揃える ③ゴム先を穴の通し、引っ張る ④2本の端を結ぶ ⑤結んだ先をゴムの中央に通す ⑥結び目がボタンに近くなるよう引っ張る	事前にまとめて行う する場合としない場合あり	難度★ 構成力 注意力 手の力 構成力 手の力	ハサミ操作 認知力 構成力 認知力
15	磁石付け 準備) ボタン(穴無し) 磁石 ボンド ボンドの台紙 木べら ※磁石小は紙をはがす	成型したボタンの裏側に磁石をつける ①ボタンの裏が上になるよう置く ②木べらにボンドを適量つける ③ボタンの中央にボンドをつける ④磁石をボンドの上に置く(中央になるよう) ⑤磁石を押しつけてくっつける ⑥磁石を上にして容器へ入れる 適宜)エタノールで手に着いたボンドを拭く		難度★ 注意力 注意力 注意力 構成力 手の力 構成力 思考力	認知力 認知力 思考力 認知力 認知力



作業NO	内容	工程	備考	難度と作業要素 (どのような機能が必要になる作業か)
16	1 シールの作成 準備)シール テープ	シールにテープを付ける		難度★
17	包装 準備) 袋にカードを入れる 準備) 袋 折ったカード	袋に折ったカードを入れる ①文字が右下になるように袋へ入れる		難度★
18	1 完成品の袋入れ 準備) 加工済みボタン カード入り袋	完成品を袋に入れる ①案内用紙の表側にボタンが表になるよう入れる		難度★
19	包装 準備) 袋をとめる 商品入り袋 テープ付シール	袋を折り、シールを貼る		難度★
20	1 昼食の購入	お弁当を買いに行く ①財布を持つ(時期によっては上着を着る) ②他者と出かける(どこへ買いに行くかを決める) ③商品を選ぶ ④お金を払う ⑤弁当を持って帰る		
21	2 掃除	掃除機、ゴミ集め、机拭き、食器洗浄		

シート6: つながるシート(社会サービス利用につながる可能性を検討するシート): 相談対応版

記入日: 年 月 日

あてはまる項目が多いほど、デイサービスなどの利用の可能性が高いと考えられます。

低い項目の原因を考え、支援することによって、デイサービスなど利用の可能性を上げていきましょう。

当てはまる数字に○をつけましょう。

5: あてはまる 4: だいたいあてはまる 3: どちらでもない 2: あまりあてはまらない 1: あてはまらない

家族

	項目	大	←社会資源利用可能性→	小
1	サービス利用に対する積極性	あり	5・4・3・2・1	なし
2	制度の手続き力	あり	5・4・3・2・1	なし
3	時間の余裕	あり	5・4・3・2・1	なし
4	家族の抱え込みがない	抱え込みがない	5・4・3・2・1	抱え込んでいる
5	家族の困り具合の認識	困っている	5・4・3・2・1	なんとかやっている
6	本人の喜びへの共感	感じられる	5・4・3・2・1	感じられない
7	周囲からのサービス利用への後押し	あり	5・4・3・2・1	なし
8	告知について	本人に言える	5・4・3・2・1	本人に言えない
9	家族会への参加	参加	5・4・3・2・1	不参加
10	思考の整理や決断	整理できる	5・4・3・2・1	混乱
11	他者にゆだねられるか	ゆだねられる	5・4・3・2・1	ゆだねられない
12	世間体や外聞を気にする	気にしていない	5・4・3・2・1	気にする
13	地域の人に公表している	している	5・4・3・2・1	していない
14	経済的余裕	あり	5・4・3・2・1	なし

本人

	項目	大	←社会資源利用可能性→	小
1	家からの外出	好む	5・4・3・2・1	好まない
2	家族がそばにいても落ち着く	落ち着いている	5・4・3・2・1	落ち着かない
3	皆と一緒に飲食	できる	5・4・3・2・1	できない
4	トイレ(介助しても)	行ける	5・4・3・2・1	我慢
5	希望を言える	希望を言える	5・4・3・2・1	希望が言えない
6	できないことを隠さない	隠さない	5・4・3・2・1	隠す
7	人に頼れる	あり	5・4・3・2・1	なし
8	意欲	あり	5・4・3・2・1	なし
9	自分なりに利用する意味がある	あり	5・4・3・2・1	なし

気づき

今後の方向性

## シート7:社会資源利用の可能性が低い場合のサポート(家族)

シート6で社会資源利用の可能性が低い場合は、次のようなサポートを考えてみましょう。  
相談窓口での対応において下記のサポートができない場合は、訪問するなどして機会を増やしてみましょう。

### 家族

	項目	項目の評価が低い時のサポート
1	サービス利用に対する積極性	支援者が話を聞き、サービス利用に対する具体的なイメージが持てるよう支援する。
2	制度の手続き力	制度利用の代行や同行
3	時間の余裕	なぜ、時間の余裕がないのかを明らかにする。時間の余裕を作るよう支援する(ガイドヘルパーの利用、代行、必要性の説明)
4	家族の抱え込み	本人の力を伝える。サービス事業所の力を信じられるようにする。家族が自分でなくても本人が安心できるようにする。
5	家族の困り具合の認識	家族の現実認識を促すように話す。「疲れていますよ」と言っても認識できない人が多い。「疲れている」と見られたくない人も多い。「頑張っている」と認めながら、自分が倒れないようにすることを促す。自分から「大変」と言えるようにならないと、周りから言われても認められない。家族会の参加を促す。支援者があせらずに話を聞く。
6	本人の喜びへの共感	本人の喜びを伝えたり、笑顔を見てもらう
7	周囲からのサービス利用への後押し	他の家族への働きかけ。家族会への参加など社会参加の場で本人がサービスを利用するとどんな風になるのかを見てもらう。
8	告知について	告知を受けている他の本人の様子を見てもらう。本人に活動の場に参加してもらう。
9	家族会への参加	家族会と一緒にいく。いろいろなタイプの家族会を紹介する。
10	思考の整理や決断	話を聞いて、一緒に整理していく。少し先の本人の状態を予測して話す。
11	他者にゆだねられるか	しばらくそばに付き添い、徐々に離れていってもらう。他の本人と一緒に活動する姿を見てもらう。
12	世間体や外聞を気にする。	頭から否定しないで、気持を受け止める。秘密が守られ、安心できることを知ってもらう。同じ気持ちだった他の家族の話を聞いてもらう。
13	地域の人に公表している	社会活動の場や家族会などへの参加を機に本人が他者と触れ合い、外出する機会を増やしていく。
14	経済的余裕	経済的支援につながる社会資源の活用について検討する。

### シート7：社会資源利用の可能性が低い場合のサポート(本人：相談対応にて検討を行った場合)

C シートで社会資源利用の可能性が低い場合は、次のようなサポートを考えてみましょう。  
相談窓口での対応において下記のサポートができない場合は、訪問するなどして機会を設け、相談頻度や関わりを増やしてみましょう。

#### 本人：相談対応にて検討を行った場合

項目	項目の評価が低い時のサポート
1 家からの外出	本人の好みを聞き、外出の機会を作り楽しい経験してもらえようにする。
2 家族がそばにいない状態	除々に慣れもらう機会を作る。家族には本人が気付かないうちに別の場所に離れる、帰ってもらうなどする。
3 皆と一緒にの飲食	緊張をほぐす。落ち着ける場になるよう、本人が失敗しないよう、できることをできるように支援する。
4 トイレ(介助しても)	緊張をほぐす。落ち着ける場になるよう、本人が失敗しないよう、できることをできるように支援する。
5 希望を言える	希望を時間をかけても聞く。選択肢を提示する。
6 できないことを隠さない	隠さなくてもよいことを繰り返し伝える。できることもあることを伝える。できないと言っている本人を肯定する。
7 人に頼れる	頼ってもいいことを伝える。本人を頼ってみる。
8 意欲	できることをしてもらい、できたことを本人に伝える。一緒に振りかえる。
9 自分なりに利用する意味がある	サービスに対してどのようなイメージを持っているのか、時間をかけても聞いていく。

## シート8:居場所や作業の場づくり

居場所や作業の場づくりを振り返り、検討したい項目に☑を入れ検討してみましょう。

1. 適切な場づくり <input type="checkbox"/> 1) 年齢幅、年代の選択 <input type="checkbox"/> 2) 場所の広さ <input type="checkbox"/> 3) 座席位置 <input type="checkbox"/> 4) 適切な休憩時間	検討事項
2. 記憶や認知障害へのサポート <input type="checkbox"/> 1) 計画性を持つ <input type="checkbox"/> 2) スケジュールを毎朝確認する <input type="checkbox"/> 3) スケジュールがわかりやすいように工夫する <input type="checkbox"/> 4) シンプルでわかりやすい説明をする <input type="checkbox"/> 5) 前回までの作業を思い起こせるようにする <input type="checkbox"/> 6) 各自が作業を選択できるようにする <input type="checkbox"/> 7) 作業しやすいように整理整頓する <input type="checkbox"/> 8) 説明は視覚的にホワイトボードや紙に書き確認 <input type="checkbox"/> 9) 言語障害への配慮をする	
3. やる気へのサポート <input type="checkbox"/> 1) 本人が工夫できる仕事の渡し方をする <input type="checkbox"/> 2) 本人のアイデアをくみとる <input type="checkbox"/> 3) 本人の障害特性を把握し、適した作業を渡す <input type="checkbox"/> 4) 本人の認知症における心理的ダメージを理解する <input type="checkbox"/> 5) 作業の一体感を作る <input type="checkbox"/> 6) その場に応じて柔軟に対応する <input type="checkbox"/> 7) 指示的に感じられないように決定までを導きだす <input type="checkbox"/> 8) 終了時も確認を行う <input type="checkbox"/> 9) 主役は本人たちである、スタッフは黒子、でも楽しむ <input type="checkbox"/> 10) 何らかの形を通して社会とつながっている仕事である	
4. チームとしての課題の解決 <input type="checkbox"/> スタッフが課題と思ったことをチームで解決する	
5. 作業選びの基準 <input type="checkbox"/> 1) 分担が出来る <input type="checkbox"/> 2) 多くの人ができることを見つけられる作業工程がある <input type="checkbox"/> 3) 参加者全員で同じ作業が出来る <input type="checkbox"/> 4) 作業管理しやすい(シンプル) <input type="checkbox"/> 5) 出来上がりがわかりやすい <input type="checkbox"/> 6) 作業者のアイデア、創造性が活かせる <input type="checkbox"/> 7) 仕上がりに満足感がある <input type="checkbox"/> 8) 作業自体が社会的な意味をもつ <input type="checkbox"/> 9) 認知症の人が作成する意味がある <input type="checkbox"/> 10) 何らかの形を通して社会とつながっている仕事である	
6. 家族との連携 <input type="checkbox"/> 1) 通所に関する連絡 <input type="checkbox"/> 2) 家族の不安をチームで解決する	
7. 適所へつなぐ <input type="checkbox"/> 1) 認知症のステージに合わせた居場所へつなぐ <input type="checkbox"/> 2) デイサービスの集団の場になれるまでのサポート	

## シートの使い方

若年性認知症の支援を行うためには、高齢者とは異なる様々な支援が必要である。

今回、作成したアセスメント表と以前作成した「若年性認知症の社会参加を支援するアセスメント手法およびコーディネート手法の開発」の表を合わせて「若年性認知症の仕事や介護保険利用サポートのために」を作成した。

### シート1：申込書

利用に際して必要な情報を聴き取る

### シート2：社会資源活用

どのような社会資源をすでに利用しているか、利用していないかを知る

### シート3：支援の必要性を知るシート

どのような支援が必要か、支援の方向性を明らかにする

### シート4：ジョブベース

シート3で就労支援が必要な仕事を探す時に必要な条件がそろっているか

### シート5：くるみボタン行程表

仕事のひとつとして、くるみボタンのどの工程が可能であるかをチェックしてできることを明らかにしていく

### シート6：つながるシート

介護保険等のサービスにつながりにくい人や家族の要因を明らかにする

### シート7：社会資源利用の可能性が低い場合のサポート

シート6で低かった項目の解決策を考える方向性を考えるヒント

### シート8：居場所や作業の場づくり

若年性認知症の人のための仕事や作業の場を作るためのチェックを行う

平成28年度社会福祉振興助成金事業報告書

若年性認知症の人のための仕事づくり

平成29年3月発行

〒537-0024 大阪市東成区東小橋1-18-33  
特定非営利活動法人認知症の人とみんなのサポートセンター

TEL 06-6972-6490

ホームページ：<http://minnanospc.grupo.jp/>